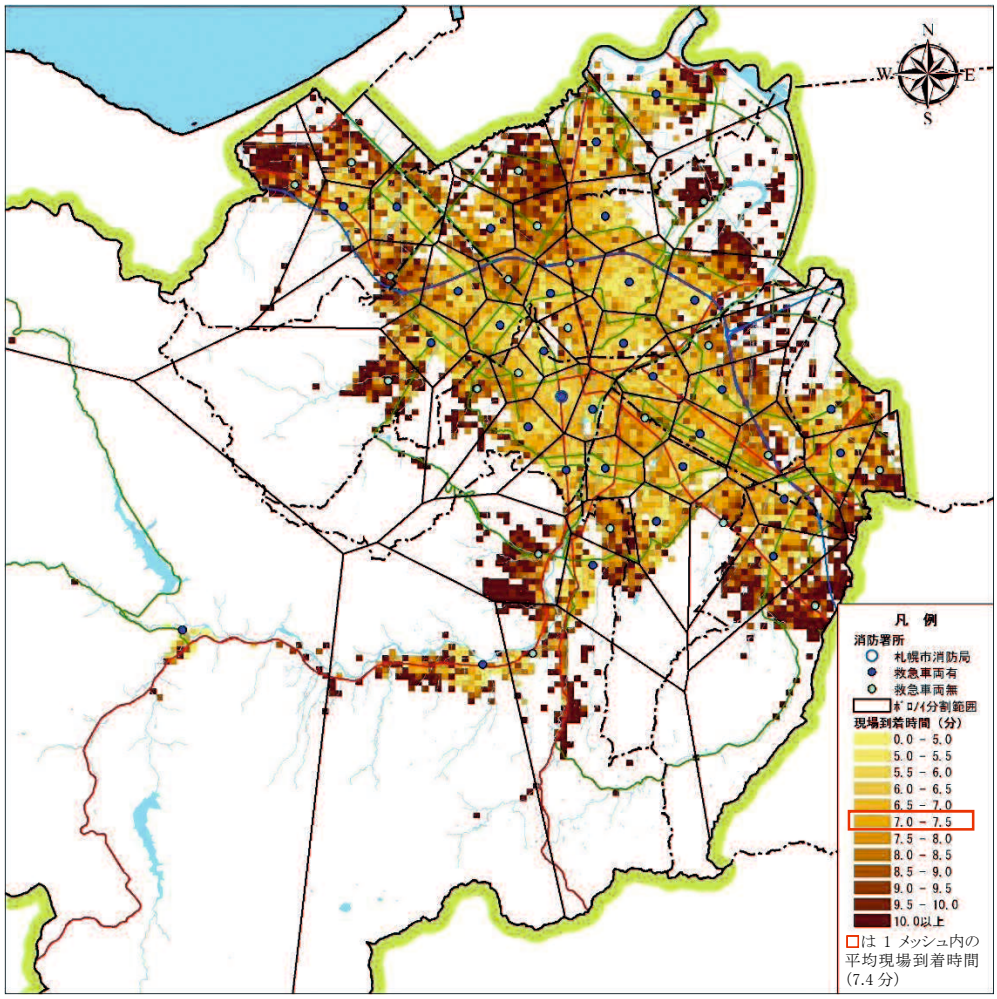
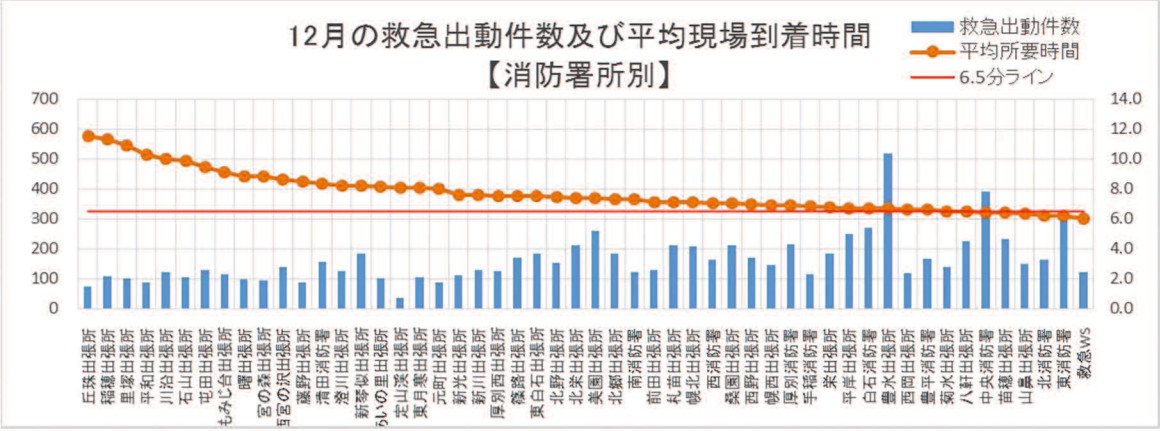
＜１２月の年間平均現場到着時間ランキングマップ：全市＞



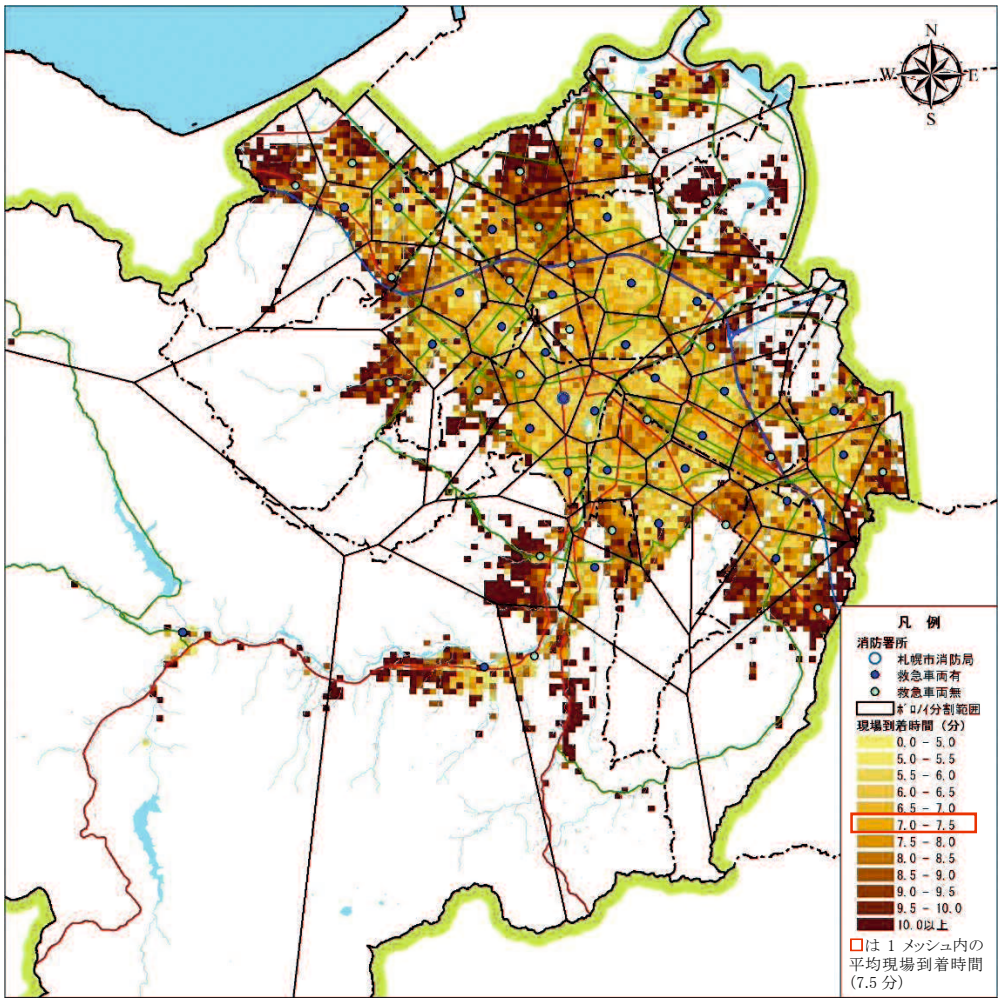


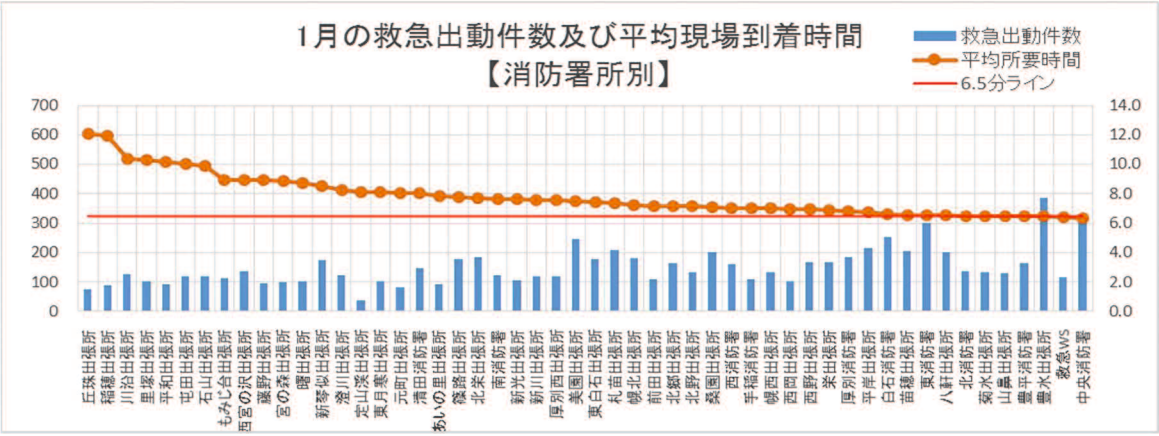
署所名	丘珠	稲穂	里塚	平和	川沿	石山	屯田	もみじ台	曙	宮の森	西宮の沢	藤野	清田	澄川	新琴似	あいの里	定山渓	東月寒
12月の救急出動件数	74.6	107.8	102.2	86.6	120.4	106.2	127.4	113.8	96.4	93.4	137.4	88.0	155.0	125.8	185.0	101.8	37.0	104.8
12月の平均現場到着時間	11.5	11.3	10.9	10.3	10.0	9.9	9.5	9.1	8.8	8.8	8.6	8.5	8.3	8.2	8.2	8.1	8.1	8.1

署所名	元町	新光	新川	厚別西	篠路	東白石	北野	北栄	美園	北郷	南	前田	札苗	幌北	西	桑園	西野	幌西
12月の救急出動件数	88.2	110.2	130.2	126.0	169.6	183.6	154.4	212.8	258.0	184.4	121.8	127.8	210.4	209.0	163.6	210.4	170.6	146.2
12月の平均現場到着時間	8.0	7.6	7.6	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4	7.4	7.3	7.3	7.2	7.1	7.1	7.1	7.0	7.0	6.9

署所名	厚別	手稲	栄	平岸	白石	豊水	西岡	豊平	菊水	八軒	中央	苗穂	山鼻	北	東	救急WS
12月の救急出動件数	214.2	114.2	183.8	249.2	271.6	519.0	116.8	166.4	139.0	226.4	390.0	231.0	149.0	161.8	302.2	122.8
12月の平均現場到着時間	6.9	6.8	6.8	6.7	6.7	6.7	6.7	6.6	6.5	6.5	6.4	6.4	6.3	6.2	6.2	6.0

＜１月の年間平均現場到着時間ランキングマップ：全市＞



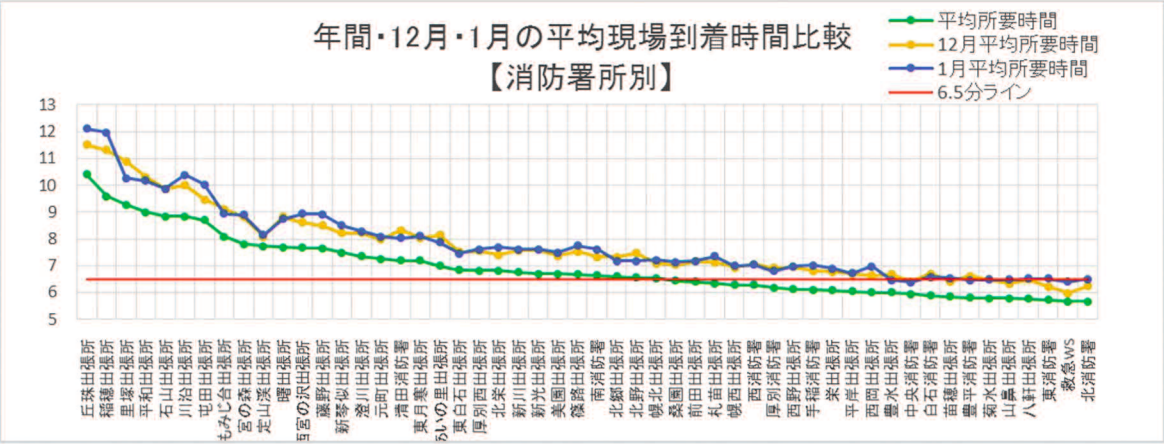


署所名	丘珠	稲穂	川沿	里塚	平和	屯田	石山	もみじ台	西宮の沢	藤野	宮の森	曙	新琴似	澄川	定山渓	東月寒	元町	清田
1月の救急出動件数	73.6	87.2	127.2	100.8	91.2	119.8	120.0	111.4	136.8	96.8	99.8	102.6	173.4	122.4	37.2	102.2	80.6	148.2
1月の平均現場到着時間	12.1	12.0	10.4	10.3	10.2	10.0	9.9	9.0	8.9	8.9	8.9	8.7	8.5	8.3	8.1	8.1	8.1	8.0

署所名	あいの里	篠路	北栄	南	新光	新川	厚別西	美園	東白石	札苗	幌北	前田	北郷	北野	桑園	西	手稲	幌西
1月の救急出動件数	92.4	176.4	183.4	121.4	106.0	119.6	119.0	244.6	178.2	206.8	180.0	108.6	162.0	133.2	199.6	161.4	107.4	133.4
1月の平均現場到着時間	7.9	7.8	7.7	7.6	7.6	7.6	7.6	7.5	7.5	7.4	7.2	7.2	7.2	7.2	7.1	7.0	7.0	7.0

署所名	西岡	西野	栄	厚別	平岸	白石	苗穂	東	八軒	北	菊水	山鼻	豊平	豊水	救急WS	中央
1月の救急出動件数	103.8	168.4	167.2	185.4	215.2	251.4	203.8	300.2	201.4	137.0	133.6	127.8	163.4	387.4	114.4	325.6
1月の平均現場到着時間	7.0	7.0	6.9	6.8	6.7	6.6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.4	6.4

＜年間・12 月・1 月の平均現場到着時間の比較＞



⑵ 札幌市における救急需要を踏まえた課題

ア　救急需要が集中するエリアへの対応

札幌中心部（大通エリア／札幌駅周辺エリア／すすきのエリア）や八軒・琴似エリアのように、救急需要の集中が見られるものの、救急隊の平均現場到着時間は短いエリアが所在するところであるが、その一方で、美園エリアや新琴似エリアは、救急需要の集中が見られ、かつ、救急隊の平均現場到着時間が長い傾向にある。

このことから、美園エリアや新琴似エリアにおける救急隊の平均現場到着時間の短縮が課題である。

イ　現場到着時間が著しく長い郊外エリアへの対応

郊外エリア（屯田出張所、丘珠出張所、里塚出張所、川沿出張所、石山出張所、平和出張所、稲穂出張所の各出張所を中心としたエリア）は、救急需要の集中は見られないものの、平均現場到着時間が８．５分を超え、他のエリアと比較して顕著に長くなっている。

このことから、郊外エリアにおける平均現場到着時間の短縮（迅速な救急対応）が課題である。

ウ　夏期及び冬期における救急需要の増加・現場到着時間の延伸への対応

夏期（７月や８月）は熱中症疑いにより、冬期（１２月や１月）は雪道自己転倒により、救急要請の増加が見込まれる。

また、冬期は全市的に現場到着時間が長くなる傾向にある。

これらのことから、夏期及び冬期における救急需要への対応や平均現場到着時間の短縮が課題である。